

滋賀医大ニュースレター

## Catch Up 滋賀医大

2009.01.05 平成 21 年 第 5 号



## 滋賀医科大学医学部附属開院 30 周年記念事業を実施

H20.10.05

本学附属病院は、昭和53年10月に開院して以来、今年で30周年を迎えました。

これを記念して、平成20年10月5日(日)市内ホテルにおいて、滋賀医科大学医学部附属病院開院30周年記念事業(記念式典・記念講演・祝賀会)を実施しました。

当日は雨天にもかかわらず、御来賓、関連病院・地域関係機関の方々、本学諸先輩及び本学教職員等、約300名の御出席をいただき、盛会のうちに終えることができました。

日頃より本院にあたたかいご支援とご協力を賜っています地域の方々、病院の発展・充実をめざして日夜、真摯に医療に取り組んでこられました諸先輩、多くの病院スタッフ、関係各位に厚く御礼申し上げます。

今後も、地域の拠点病院として、皆様方の期待に応えるべく教職員一丸となって努力してまいります。



(上) 記念式典 馬場学長挨拶  
(下) 祝賀会での鏡開き

## 滋賀短期大学と教育研究協力に関する包括協定を締結

H20.10.14



(左) 滋賀医科大学 馬場学長  
(右) 滋賀短期大学 板倉学長

滋賀医科大学と滋賀短期大学は10月14日、教育研究協力に関する包括協定を締結しました。主に食育分野における学術交流を実施します。

具体的には、滋賀短期大学へ本学教員を派遣するほか、両大学主催での市民公開講座などを計画しています。将来においては、共同研究や単

位互換も視野に入れ、交流を深めていく予定です。

調印式において馬場学長は「滋賀短期大学が持つ施設を生かし市民向けの栄養学講座を開くなど、本学の知を地域に還元していきたい」と語りました。

## 医学史料展示会「湖国の医史～先人たちの活躍を知る～」を開催

H20.10.16～26

10月16日(木)から26(日)まで、医学史料展示会「湖国の医史～先人たちの活躍を知る～」を、滋賀県立図書館1F特設会場にて開催しました(入場料:無料)。

近代産科学の礎を築いた“賀川玄悦”の主著「産論」と、玄悦が考案した産科器具、草津出身の名医“中神琴溪”の「生生堂医譚」、幕末から明治にかけて彦根藩医を勤めた河村家の文書、そして、郷土の医療に貢

献した近江商人“伊藤長兵衛”と豊郷病院、などを中心に湖国ゆかりの医学史料を展示しました。

また、去る18日(土)には、“賀川玄悦”について研究されている上田博章氏(元朝日放送アナウンサー)による講演「湖国の生んだ産科医 賀川玄悦～その生涯と功績～」が実施されました。



賀川玄悦著「産論」

## 第34回解剖体慰霊式を執り行いました

H20.10.16



馬場学長による慰霊の辞

10月16日(木)午前10時から本学体育館において、ご遺族、ご来賓、しゃくなげ会会員及び教職員・学生500余名の参列の中、厳かに第34回滋賀医科大学解剖体慰霊式を執り行いました。このたびは系統解剖35霊、病理解剖41霊、法理解剖87霊、計163霊を新たにお祀りし御霊のご冥福をお祈りしました。

慰霊式は、出席者全員で御霊に黙禱を捧げ、諸霊芳名拝誦、馬場学長及び学生代表による慰霊の辞、山中しゃくなげ会理事長の献辞、出席者全員による献花が行われました。

最後に、ご遺族代表のご挨拶に続き、本学教授代表として解剖学講座の工藤教授から挨拶があり、閉式となりました。

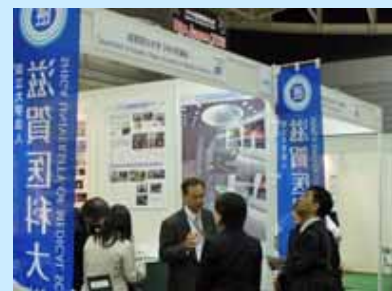
## Bio Japan 2008 に「日本発！次世代手術システム」を出展

H20.10.15～17

10月15日～17日にパシフィコ横浜で開催された「Bio Japan 2008」に、外科学講座から「日本発！次世代手術システム」を出展し、下記のテーマについて展示・説明を行いました。

1. 生体MR透視による肝癌治療
2. 標的自動追尾ロボットを用いた肝癌治療
3. MR対応内視鏡&次世代鏡視下手術
4. 次世代手術支援システム用マイクロ波手術器具

ポスター・試作品・パソコン・プロジェクターによる展示で注目を集めたほか、既に試作品の作成や動物実験を行っているという点で、来場者からの早期実現化への期待が大きく、研究加速の重要性を再認識させられました。



滋賀医科大学のブース

## 長浜バイオ大との連携大学公開講座「バイオ医療学ってなんだ！」を開催

H20.10.24



熱心に耳を傾ける受講生

平成20年度文部科学省「戦略的大学連携事業」に、滋賀医科大学と長浜バイオ大学の共同事業「びわこバイオ医療大学間連携戦略」が選定されました。

その事業の一環として両校主催で、「バイオ医療学」という新しい学問領域についての公開講座を実施しました。当日は、学生、医師、研究者、高校関係者などが、熱心に講演に耳を傾けていました。

## 第34回「若鮎祭」(学園祭)を開催

H20.10.25~26

第34回若鮎祭が、平成20年10月25日(土)、26日(日)の両日にわたって開催されました。今年は、人と人とが感謝の心でつながり合える学園祭となるよう...来場者の皆さまにも日頃なかなか口にはできない感謝の気持ちを表すきっかけの場となれば...という思いより、「ありがとう」をテーマにさまざまなイベントが行われました。

滋賀医科大学キャンパス内の各会場では、お笑いライブ、模擬店、フリーマーケット等が繰り広げられ、健康チェック・測定コーナーなど、医科大学ならではの企画も好評でした。

臨床講義室では、25日(土)に「チーム・バチスタの栄光」の著者である

海堂尊さんを迎えて「死因不明社会におけるAi、そして文学の果たす役割」と題した講演会を、26(日)に女性陶芸家の草分けであり骨髄バンク設立にも尽力なさった神山清子さんによる「命をつなぐ骨髄バンク～息子と戦った白血病～」と題した講演会が開催しました。会場は、両日も多くの参加者で埋めつくされ、講演のすばらしい内容に大盛況でした。

2日目は残念ながら雨天となりましたが、地域のみなさまをはじめ多くの方々にご来場いただきました。メインステージのお笑いライブで盛り上がりは最高潮となり、無事にフィナーレを迎えて第34回の若鮎祭の幕が閉じられました。



(上) 会場内の様子  
(下) 健康チェックコーナー



(左) 講演会場の様子  
(右) アカベラグループのステージ

## 高校生らを対象に体験授業を実施

H20.10.25



大学の講義を体験する参加者

学園祭「若鮎祭」期間中の10月25日(土)に、薬理学講座の安屋敷准教授を講師に「高血圧症について～特に合併症と薬物治療について～」というテーマで体験授業を開催しました。当日は、県内外から高校生、保護者等合わせて70名近くの参加がありました。

アンケートの結果から、我々に身近な病気の一つである「高血圧」について、その発病のメカニズムや合併症

について学ぶことができた等の感想があり、熱心に興味深く受講していただけたように思われました。

また、パワーポイントのスライドを使用した講義は、「高校生にも大変わかりやすくてよかった」「思っていたより本格的なものだった」との感想が多く、「滋賀医科大学に入学したくなった」「勉強に対するモチベーションが上がった」という感想も多数ありました。

## 上島弘嗣教授が平成 20 年度日本医師会医学賞を受賞

H20.11.01

本学社会医学講座(公衆衛生学)の上島弘嗣教授が、「国民を代表する集団の長期追跡調査による動脈硬化症疾患予防のための研究：NIPPON DATA80・90」などの業績により、平成20年度日本医師会医学賞を受賞しました。

日本医師会医学賞は、日本医師会会員(16万5千人)を対象としてお

り、毎年、医学上重要な功績をあげた3名に対して授与される賞です。

11月1日(土)には、「第61回日本医師会設立記念医学大会」において、表彰式及び受賞講演が執り行われました。



上島教授 受賞講演の様子

## 平成 20 年度研究動物慰霊式を執り行いました

H20.11.11



小笠原センター長による慰霊の辞

11月11日午後3時より、滋賀医科大学研究動物慰霊碑前にて、平成20年度研究動物慰霊式を執り行いました。

慰霊式には学長、副学長始め90名が出席し、出席者全員による黙祷を行った後、動物生命科学研究センタ

ー長の小笠原一誠教授、利用者会議議長の山本好男講師より慰霊の辞がのべられ、全員が献花を行い、厳粛のうちに終了しました。

## プライマリケア医を対象にしたワークショップ「琵琶湖プライマリケア・リフレッシャーコース(第2回)」を開催

H20.11.30

去る11月30日(日)に、プライマリケア医の生涯学習促進を目的として、大津市のピアザ淡海を会場に「琵琶湖プライマリケア・リフレッシャーコース(第2回)」を、昨年に引き続き開催しました。

このワークショップは、日頃、学生の診療所実習や全人的医療体験学習を受け入れていただいている診療所等の医師を対象に、プライマリケア医として日常診療の中で必要とする知識や技術を診療または学生の指導に活かせることを目的に実施したものです。

当日は、プラクティカルでエネルギーギッシュな講演で有名な石岡・平本皮膚科医院長の平本 力先生を講師に迎え、家庭医療学講座の三ツ浪 健一教授の司会・進行により、

「皮膚疾患のプライマリケア」と題し、講演及び実技指導が行われました。

このワークショップには、馬場学長も参加したほか、診療所の医師、病院の研修医、学生合わせて58名の参加がありました。

当日の平本先生の講演は、身近な皮膚疾患のから、最近の病気の症例まで多岐に渡り、その迫力ある講演に参加者全員集中しながら受講し、終了後は普段抱えている患者さんの症状等について質問が相次ぎ、予定の終了時間をオーバーして閉会しました。

馬場学長も「2回とも多数の参加者で活気にあふれた研修会であり、今後も是非定期的に開催していきたい」と述べられました。



(上) 平本先生による講演・実技指導

(下) 熱心に耳を傾ける受講者

## 太陽光発電設備が完成

H20.12.24



太陽光発電パネル

この度、基礎実習棟の屋上に、最大7.5Kwの太陽光発電システムを増設しました。昨年度設置した最大2.5Kwの太陽光発電システムとあわせて、合計10Kwの設備が完成、稼働を開始しました。

基礎実習棟の屋上に設置された太陽光発電パネルは合計60枚、面積

約80㎡で、発電量は一般家庭3戸程度あります。

今後も滋賀医科大学では、施設面での地球環境保全に関する取り組みを進めていく予定です。

## 平成 21 年 1 月～3 月の行事予定

- |          |  |
|----------|--|
| 1月17・18日 | 大学入試センター試験                                     |
| 1月12日    | 炎症性腸疾患センター医療講演会                                |
| 2月10日    | 学外有識者会議  |
| 2月25・26日 | 一般選抜試験   |
| 3月 3日    | ひな祭りコンサート（附属病院）                                |
| 3月 8日    | 第4回滋賀医科大学炎症性腸疾患センター主催市民公開講座「クローン病とは？その概念と最新治療」 |
| 3月10日    | 一般選抜試験合格発表                                     |
| 3月25日    | 卒業式  |

### 大学概要



国立大学法人

**滋賀医科大学**

SHIGA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

**所在地：**

〒520-2192  
滋賀県大津市瀬田月輪町

**開学：**

1974年10月1日

**活動内容：**

教育・研究・診療

**役員：**

学長	馬場忠雄
理事（教育等）	服部隆則
理事（医療等）	柏木厚典
理事（経営等）	村山典久
理事（総務等）	脇坂信夫



### 担当

**企画調整室**

TEL: 077-548-2012      FAX: 077-543-8659

本学 Web サイト URL:  
<http://www.shiga-med.ac.jp/>

E-MAIL:  
hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp

## 報道された滋賀医科大学 (平成20年10月～平成20年12月)

### 教育関係

2008.12.22	京都	滋賀医大生グループ保護者を調査
2008.12.19	各紙(2紙)	国私立大63校の医学部定員増
2008.12.04	京都	滋賀医科大管弦定期演奏会楽団
2008.11.24	京都	守れ地域医療 里親交流、深まる愛着
2008.11.21	烏丸経済	学食のメニューでフードマイレージ表示 - 16大学32食堂で実施
2008.10.24	京都	「チーム・バチスタ」著者 命・医療テーマに講演会
2008.10.21	朝日	滋賀医科大学 若鮎祭
2008.10.19	読売	滋賀医大と滋賀短大「食育」教育・研究で協定
2008.10.15	京都	食育主体に学术交流 滋賀医大と滋賀短大が協定
2008.10.14	中日	相互交流へ包括協定 滋賀医大と滋賀短大

### 研究関係

2008.12.19	各紙(2紙)	大津・草津の基本計画に同意 地域産業活性化で経産省
2008.12.16	産経	眠りを通じて日本を治す 睡眠学講座宮崎特任教授
2008.12.04	朝日	サルでもiPS作製
2008.10.24	京都	県内に南北医療格差 埴田先生講演

### 病院関係

2008.12.25	各紙(3紙)	国立滋賀病院へ新たに常勤医師 滋賀医科大派遣へ
2008.12.15	PRESIDENT	頼れる病院 危ない病院.
2008.12.13	毎日	ノーリフト：協会設立へ 看護、介護従事者の負担を軽減
2008.12.07	読売	大腸がん 45歳過ぎ一度検査を 谷副病院長
2008.12.07	読売	病院の実力 大腸がん
2008.12.07	中日	県がん対策推進計画 今月策定
2008.11.21	京都	がん医療 支援連携を 近江八幡でフォーラム
2008.11.08	日経ヘルスケア	病院経営を圧迫する医療廃棄物を安全に経済的に処理するシステムが誕生
2008.11.05	各紙(3紙)	がん診療高度中核拠点 滋賀医科大学病院を選定
2008.11.02	朝日	患者を生きる グリーフケア 一人ひとりに寄り添って
2008.11.02	読売	病院の実力 内視鏡で開腹回避
2008.10.28	朝日	患者を生きる 信頼 9日間の命
2008.10.28	京都	県立成人病センター がん診療連携拠点到 県、厚労省に推薦へ
2008.10.27	朝日	快眠のススメ 3 自然に合わせて生活すると、体が一番喜びます
2008.10.22	日経	蘇れ医療 事故防止へ「カイゼン」模索(医療安全管理部 坂口先生)
2008.10.20	朝日	快眠のススメ 2 眠気を誘う「メラトニン」
2008.10.13	朝日	快眠のススメ 1 睡眠時間が減ってます
2008.10.05	読売	病院の実力 滋賀県 初期 自覚症状なし
2008.12.25	各紙(3紙)	国立滋賀病院へ新たに常勤医師 滋賀医科大派遣へ
2008.12.15	PRESIDENT	頼れる病院 危ない病院.
2008.12.13	毎日	ノーリフト：協会設立へ 看護、介護従事者の負担を軽減
2008.12.07	読売	大腸がん 45歳過ぎ一度検査を 谷副病院長
2008.12.07	読売	病院の実力 大腸がん

2008.12.07	中日	県がん対策推進計画 今月策定
2008.11.21	京都	がん医療 支援連携を 近江八幡でフォーラム
2008.11.08	日経ヘルスケア	病院経営を圧迫する医療廃棄物を安全に経済的に処理するシステムが誕生
2008.11.05	各紙(3紙)	がん診療高度中核拠点 滋賀医科大学病院を選定
2008.11.02	朝日	患者を生きる グリーフケア 一人ひとりに寄り添って
2008.11.02	読売	病院の実力 内視鏡で開腹回避
2008.10.28	朝日	患者を生きる 信頼 9日間の命
2008.10.28	京都	県立成人病センター がん診療連携拠点に 県、厚労省に推薦へ
2008.10.27	朝日	快眠のススメ 3 自然に合わせて生活すると、体が一番喜びます
2008.10.22	日経	蘇れ医療 事故防止へ「カイゼン」模索(医療安全管理部 坂口先生)
2008.10.20	朝日	快眠のススメ 2 眠気を誘う「メラトニン」
2008.10.13	朝日	快眠のススメ 1 睡眠時間が減ってます
2008.10.05	読売	病院の実力 滋賀県 初期 自覚症状なし

### 社会連携関係

2008.12.07	中日	たばこは有害 こんなに怖い 滋賀医大生が先生
2008.11.18	滋賀報知	「市民公開健康講座」インプラント治療に熱い視線(山本教授)
2008.11.17	京都	「健康寿命」の延ばし方講座
2008.11.07	朝日	高校生よ医学に興味を 滋賀医科大、今秋から「特別授業」
2008.10.25	朝日	潰瘍性大腸炎クローン病医療講演会交流会
2008.10.22	朝日	湖国の医史
2008.10.22	朝日	市民公開講座「くすりがあるのに使えない!？」
2008.10.15	京都	湖国の医史紹介
2008.10.07	産経	滋賀医科大学が医学史科展示会
2008.12.07	中日	たばこは有害 こんなに怖い 滋賀医大生が先生

### 管理運営

2008.10.10	京都	国立大学など91法人中期計画ほぼ順調
------------	----	--------------------

### その他

2008.12.19	産経	"オンリーワン"自負強く 滋賀大学 成瀬龍夫
2008.11.03	日経	秋の叙勲